

平成 27 年度事業報告書

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、平成 27 年度においてもユーザ側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として以下の事業を展開して参りました。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行って参りました。平成 27 年度は、技能検定事業の活性化策として受検者増を最大の課題と位置づけ、特別委員会でその対策を検討し強力に進めました。下期には、当協議会の賛助法人会員である全日本電気工事業工業組合連合会殿のご支援により大幅な受検者増が実現しました。また、最近の技術進展や施工業界のニーズに応えるべく試験内容の改革を検討中です。

全国の実技試験での採点の統一性確保のため、中央水準会議を 4 月のフォーラム開催時に東京で開催しました。

(2) INIP 認定事業

全国の計 7 会場で INIP-Silver 認定試験を実施しました。

また、認定者・受験者への情報提供及び普及・啓蒙を図るため、定期的な情報を提供しています。本年度も認定者向け情報誌(INIP ニュース)を年 3 回発行しました。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進して参りました。これにより人材育成ならびに技術の普及に努め施工技術者の社会的地位の向上を目指しました。

① 第 53 回技能五輪全国大会への活動支援

平成 27 年 12 月 4 日～12 月 7 日幕張メッセで開催された第 53 回技能五輪全国大会の運営協力団体として競技用機材・部材の調達・提供や予選会の開催（24 名の選手推薦）など技能五輪支援活動に引続き積極的に協力しました。また、技能五輪競技会の成績優秀者に対する技能検定 1 級実技試験免除申請を行い、新たに 9 名に技能証が交付されました。

② 第 11 回情報通信配線技術フォーラム 2015

平成 27 年度 4 月 8 日~10 日に東京ビッグサイトで第 11 回目の情報通信配線技術フォーラム 2015 を第 15 回光通信技術展 (FOE2015) と共催で開催を致しました。このフォーラムは第 53 回技能五輪全国大会の予選会を兼ねており、全国大会「情報ネットワーク施工」職種出場選手 24 名を選出しました。

③ 各表彰制度への推薦

平成 28 年春褒章、卓越した技能者 (現代の名工) 及び厚生労働大臣賞 (技能検定功労) に会員の推薦を行いました。また、理事長賞 (特別功労賞) の表彰を行いました。